

佛領東京(下) 第二十一卷

佛領東京(下) 第二十一卷











	長濱尾沈地 冷地西番	建尾尾木地 尾地西番	建尾尾木地 尾地西番	建尾尾沙置 尾地西番	尾地西番 尾地西番
-	501 得	70101 已	2010 数	4 其	11 榻
=	7010 勒	70101 土	70101 業	5 呢	1 哩
三	70101 咄	70101 吸	70101 推	13 核	1 腮
四	010 蒸	010 入	010 音	8) 喇	5 哩
五	01 尾	01 阿	0101 我	5 哦	5 然
六	101 出	101 朱	101 空	5 贊	6 確
七	101 星	101 旬	101 念	10 時	10 數
八	101 籍	101 揭	101 歌	10 審	10 室
九	101 做	101 吞	101 噴	10 孤	10 跟
十	101 拜且	101 居	101 奔	10 干	10 層

	松浦尾尾地 西番	松浦尾尾子 奇地西番	松浦尾尾沈 尾地西番	松浦尾尾木 尾地西番
-	1010 止	10101 記	1010 不	10101 子
=	10101 呢	10101 利	10101 樹	10101 力
三	10 所	10101 送	10101 錄	10101 岳
四	10 日	10101 日	10101 日	10101 日
五	10 哈	101 阿	10101 某	10 押
六	10 州	10101 住	10101 竹	10 竹
七	10 的	10101 頓	10101 頓	10101 的
八	101 第	10101 吉	10101 高	10101 及
九	10101 谷	10101 谷	10101 谷	10101 谷
十	10101 掌	10101 足	10101 十	10101 層

日本建築学会



東洋學院  
建築部  
建築設計  
左一列の  
数字は  
設計の  
順序



昆媽 = Kon-gai = 女子

姊離 = Chia-nam = 女

姊台 = Chia-Hai =

姊歌 = Chia-Bai

妻 = Tsi

東京腔 / 教例

S ⇄ T = 変化の例 — P ⇄ B = 変化 — T ⇄ D = 変化

西 = Tai	北 = Bak	定 = Ding
順 = tuong	白 = Bak	太 = Dai
三 = tam	平 = Bin	
清 = tong		

東京腔 / 教例

支那古音の例

卷 = tai	洋 = Duong	治 = Tri
林 = Lam		莊 = Tran'g

○ 調査事項成蹟

I. 東京建築

- A. 佛寺 〇... 寶篋印塔と道智の塔と純正の塔と、東屋・塔の及仏壇、別荘屋等 Stupa, 梵字の塔と。
- B. 道觀 〇... 支那の塔と。
- C. 文廟 〇... 大佛支那の塔と。
- D. 淫祠 不瑪露儀等。
- E. 樹木紫塚 土地固有、凡そ〇ル。
- F. 墳墓 支那式等。
- G. 城堡 今存するもの河内城、一部、塔及門等。
- H. 住家 粗野支那の屋、茅屋竹藪又木造竹藪の支那流、〇... 支那式等。

II. 安南建築

教化府、暹羅の塔と、支那の支那式、尤在大。

III. 文趾建築

今支那化せり古の占城式等、今來碗、建築の支那系、detail、南洋風味の加味等。

IV. Cambodia 建築

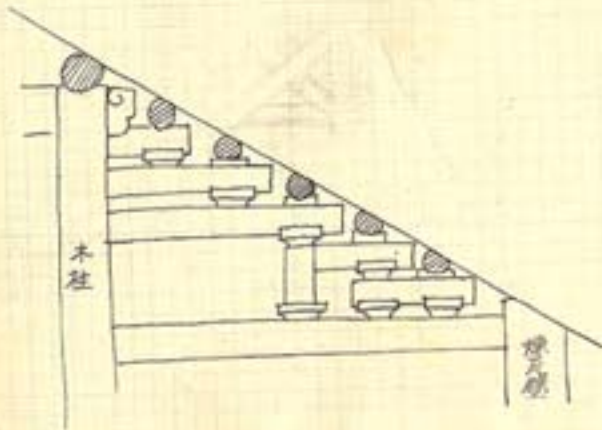
後身支那建築、支那趣味、支那、羅、羅等。

V. Laos

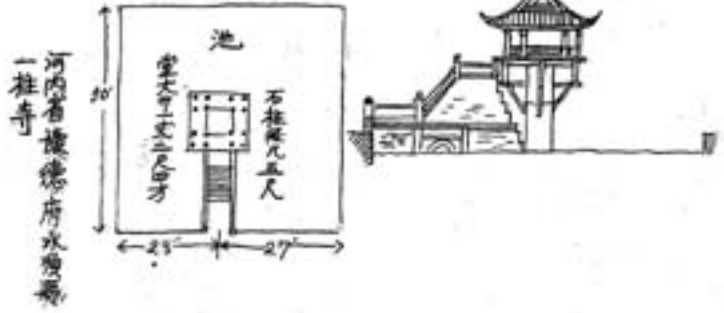
羅羅と福等、何れも、支那趣味、支那。

安南博士

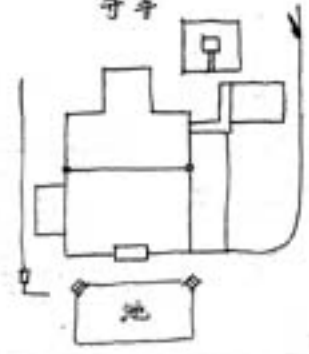




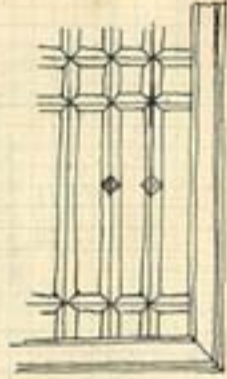
昔の地界籠アア宮ヲスロリ之ヲ観ル如龍眼杖所ナレ更ニ杖動サレニ  
フノ上堂ヲ建タト云ヒ傳フ



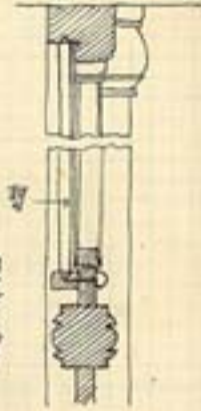
延寿寺  
又一柱寺



40 欄子

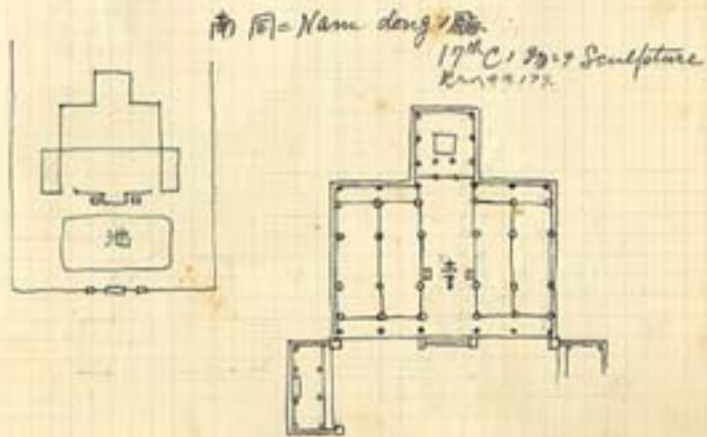


白漆之木欄



上段是門之飾  
下段是門之飾  
中間是門之飾  
即







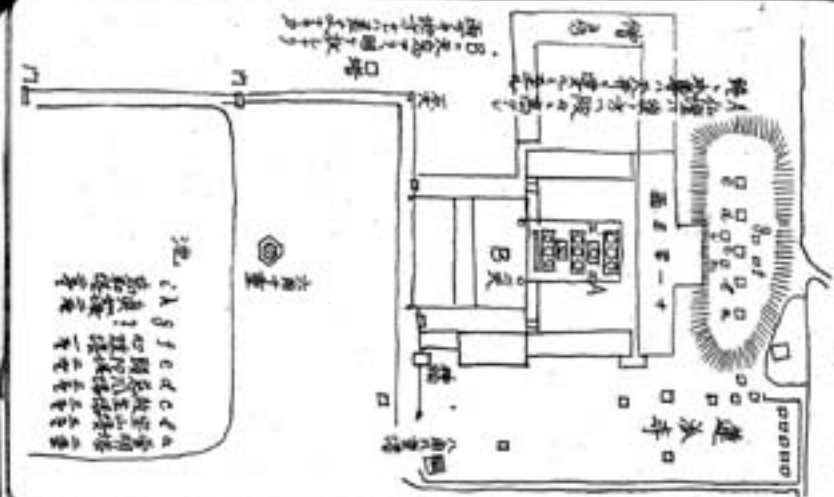
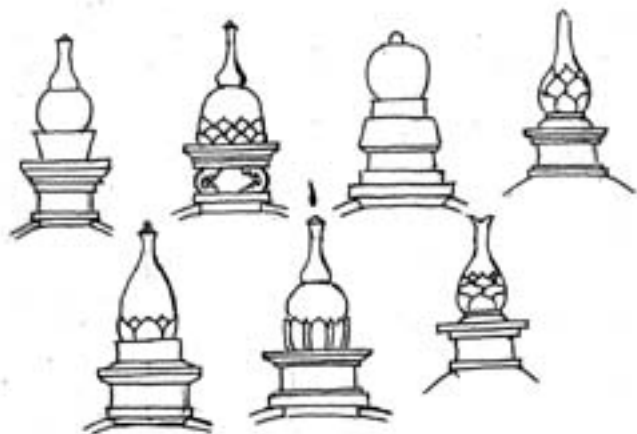
河内嘉隆街



嘉隆街の石燈籠



蓮花手ノ塔



池  
 蓮花寺  
 佛堂  
 僧堂  
 講堂  
 山門  
 南門  
 石段  
 石燈籠



### 壽昌祠宇

明命ノ朝ノ人壽昌ノ姓ハ祠ヲ、先賢壽昌祠ト云フ  
即見ルヘキモノナレ

### 蓮流寺

大伽藍アリ、コノ十重塔、九層殿アリコノ地方、多層塔ノ  
ルハコノ寺ノモリアリ及ルモ多クスヘシ、但シ塔ノ形式ハ支那的  
シテ最平凡ナルモ、アリ見ルニ是ラス、屋根ノ形ハ樺柱  
上部ニ変用スル detailト關係アリ  
ソノ他塔本、墓石多シニモニ聖ノモアリナ、見ルニ是ルモ、  
アリ。

丁 碑亭 / 碑

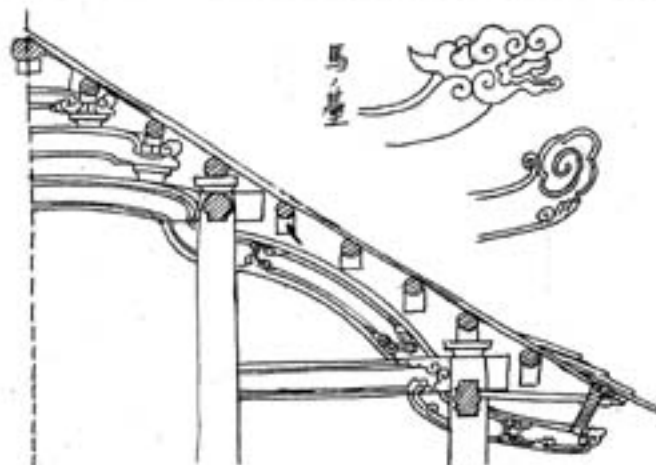


E 殿 / 鳳林 / 木幣



馬殿

馬臺



西廂ノ側面  
西白キハセ  
トシナリ



A 外一門 三間三面临工出袖石敷、荷葉形瓦山門、庭面、取巻、  
球に向テ彫刻致シ、欄干ナシ、空欄八弁ノ如ク。

B 亭 重層ニ工面ニテ

C 石段 七石ニ面、内若一面ハ廊、[集蓮堂]、后法華堂ノ偏形。

D 某殿ニテ

E 三石ニ面テ

F 七石ニ面テ取、八弁ノ位ヲ有ス

G 碑亭 東ノ北ニ碑、身ノ頂ハ石、形ノ如ク、重層ニテ。

H 八極ノ各角ニ置テ八弁ノ形、集蓮堂ニテ

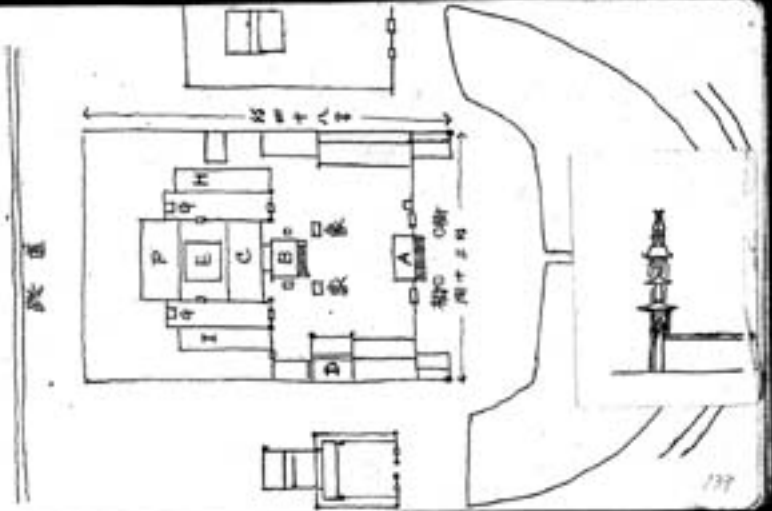
I 八極ノ各角ニ置テ八弁ノ形、集蓮堂ニテ

大碑亭

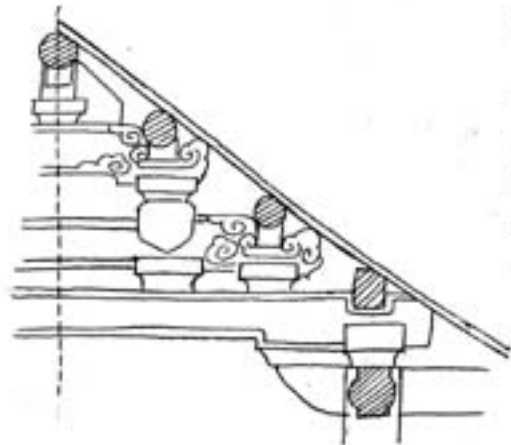
他ノ庭ノ東西各一列ノ小廂アリ。

李朝  
 太祖 太宗 聖宗 仁宗 英宗 高宗 孝宗  
 の廟宇ナリ

古法殿

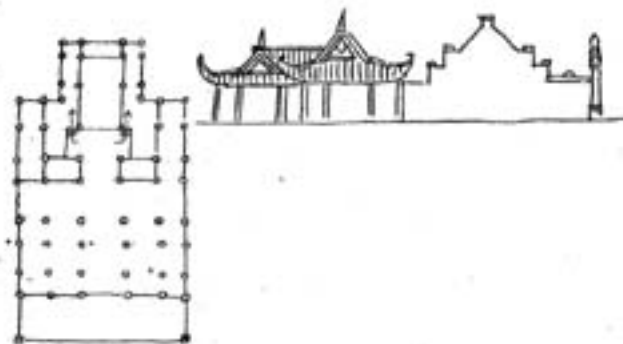






徹下  
差七太親束了

應一king. 一村鎮守神堂の柱會の概集の図  
9457可





隅棟

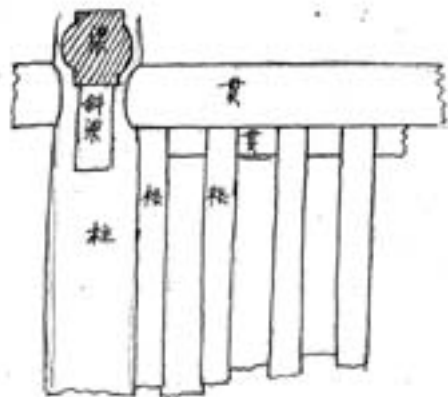
甲

巨龍



皇元朝才一帝景盛萬年之東城在甲寅五夏祭日

125

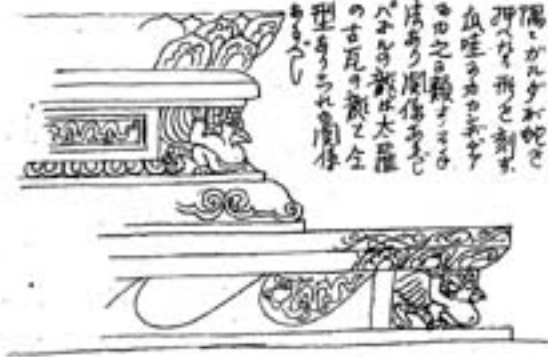


扉下の羽目  
 柱を丸太と細の二立てその間に墨板  
 して埋めたり、他に類例あり、多分  
 鳥居下の羽目

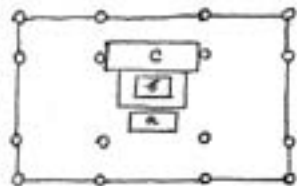
横上の内窓の家、前、左、右一、四、七、七  
 Cham.人+羽目  
 羽目一枚見、原!



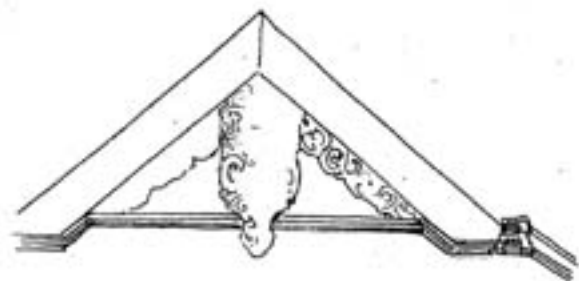
礎上



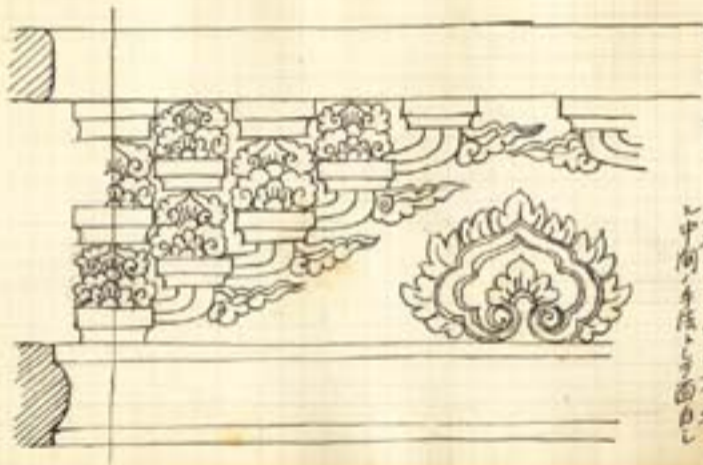
礎上石の須知  
隅に丸く削り  
押入を削り  
瓜哇の如き  
自由之形  
法あり  
ハナハナ  
の古瓦  
型あり



a 車  
石鉄  
C 鉄片  
礎



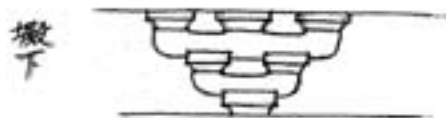
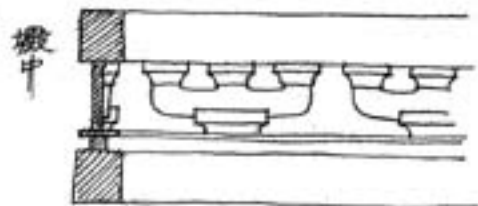
翠中



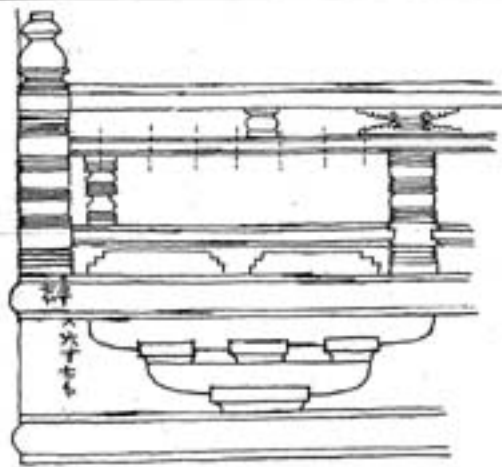
櫓下欄間

材栱式ヨリ南洋式、特  
ニ中間ノ手法トシテ面自シ





斗拱ノ制ヲ見ル。然レ此東亞地方ノ  
 斗拱、必ず平面的・裝飾的ニシテ、一  
 立体的・構造的意味、用テシムルモノ  
 ナリ。



↑一尺二寸二分↓

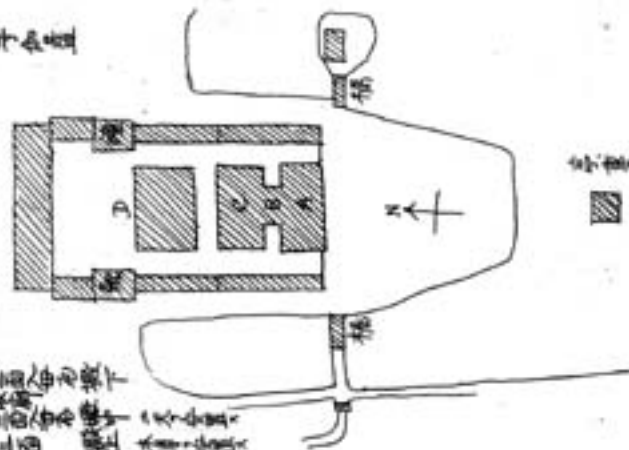






巨磬(銅)  
 横六尺寸 縦四尺寸  
 明命七年

天橋平金直



下橋  
 上橋  
 橋  
 橋



天福寺山上より東望

寺ノ西約北へ約7 Limestone Rock (丘陵) 約100-200m.  
 位上、丘上、各個、小堂あり。  
 一洞窟あり、東壁、7層の彫刻あり、星後三年及新時代(772-782)  
 17mC. 洞内、諸仏像あり、  
 天和四年(782)乙未、二月十二日、銘あり。  
 洞ノ北、嶺山寺アリ、天福樓寺ト稱ス。  
 瓦葺、椽杉色、  
 瓦葺、椽杉色、  
 創建ハ、11mC. ナト云ス、政令ノ違、17mC. ノモト、  
 方唯一、古建築、  
 現今、  
 不喜、  
 佛具、  
 東、

### 天福寺(山西省多福村)

在安山縣菜山社、古号香江庵、又号  
 神陀殿寺、左捺禪師像、右李神真  
 像、中則佛像也、禪師姓孫名塔字  
 道竹、河内永順安州人、善世高僧、  
 卓錫于此、李仁尊善秋高、未相嗣、  
 弟崇賢候亦未有子、與道行語求  
 嗣事、道行約他日主人臨誕、必先相  
 拜、後支時產、胎散、道行即易服  
 標錫、八洞中、  
 事之、  
 再像事之、  
 既德、  
 夢、  
 周、  
 歸、

(大南一統志卷三十一、山西省)



天福寺

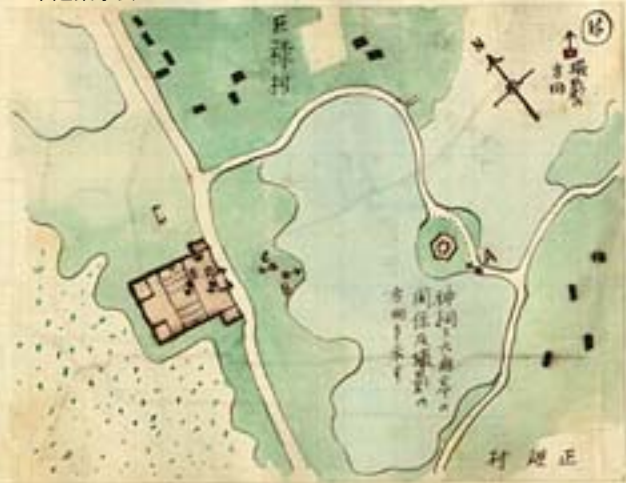


劇場と女優

天相掃魚煙言



能登の頼



正越村

111







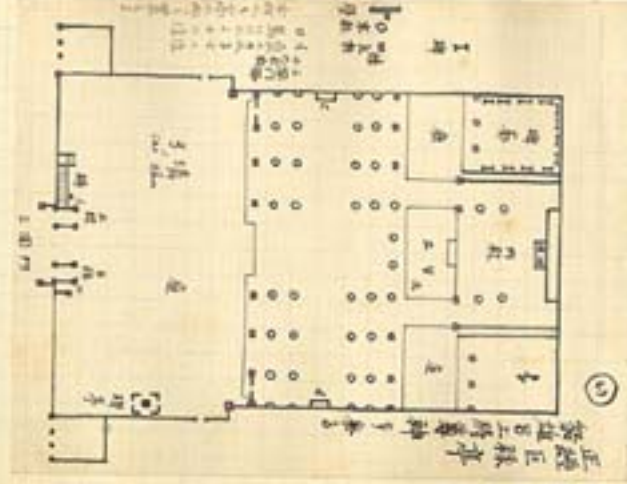
正徳元禄寺地所  
六角亭  
島六道十海一平

②



安陽三秋鶴を退治す

111



一鉢鉢線、下流流無完、音、出、又、其、妙、法、也、云、云

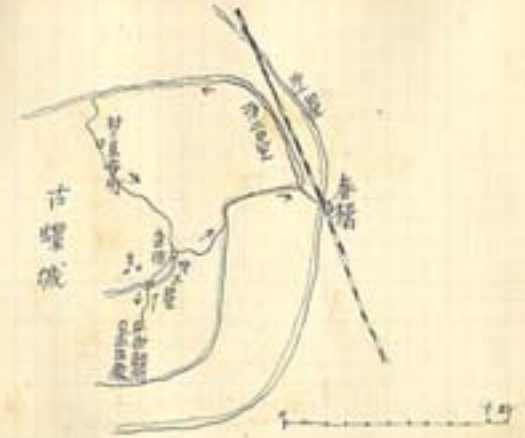
Don-bachi  
彈 鼓



Handwritten notes in a foreign script, possibly Chinese or Japanese, located at the top of the left page.

Main body of handwritten notes in a foreign script on the left page.

Ko-loa

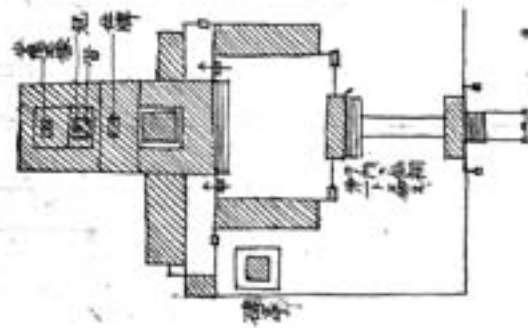




室山寺



正法殿



塔



冠



慈山府東岸縣戶見皇親古螺社  
云法殿

大殿因四仙洞中有一石上碑

北面 貞德二年十月二十四日

東面 承慶元年

南面 承慶四年

西面 承慶十三年四月初日

正法殿，聯

杖負空歸山無鬼

逆賊隨消夢有神

殿到螺城應源波

殿無鬼尊之應感天

初年龜督殿塔頭龜山河青為定

殿古螺城營社社靈宮廟信尊殿

千年蓮會龜能卜

一茅雄閣歸謝鑑

千秋佛廟峙螺城

四顧山河蜀不亡



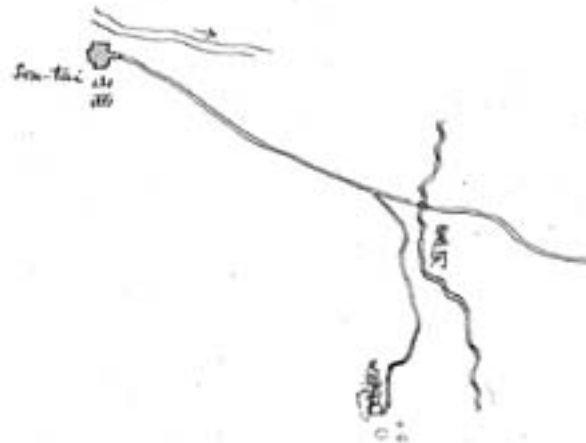
東京地方ノ建築ニテハ胡蝶舞ヲクハカシテモ此ノ  
 他ノ様式ヨリ出タル形ナルモノシテソノ趣ナク舞  
 ノまうたハ胡蝶ノ形ヲ知リテ作ル

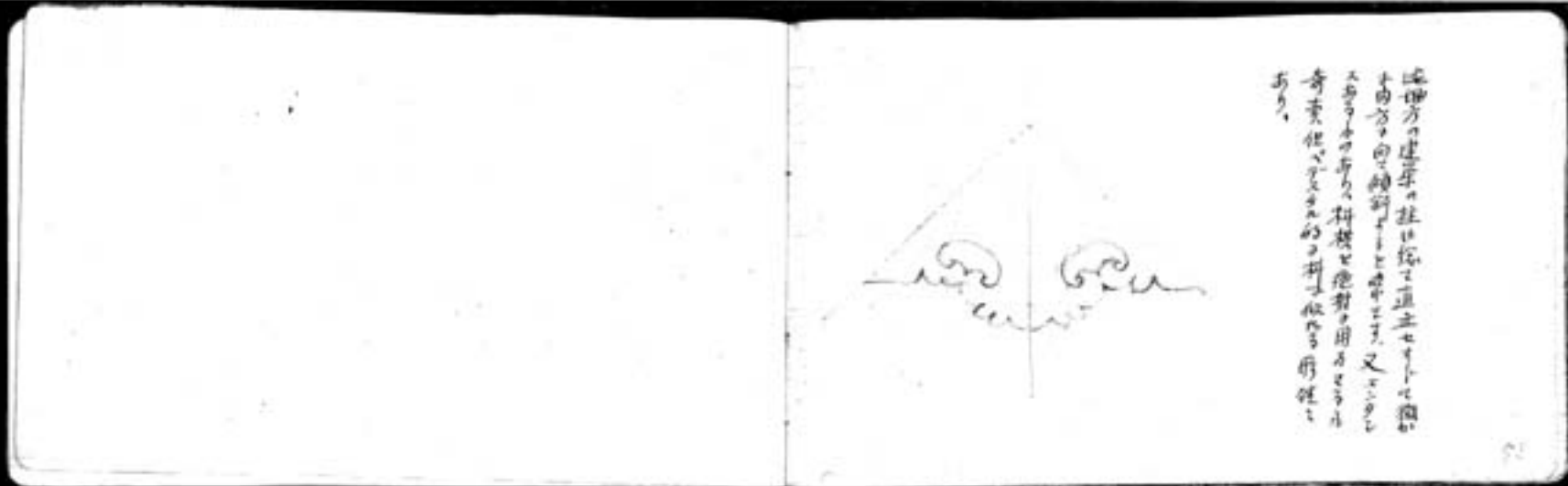
正清殿内石階の神石





天福寺、御廟町、石法殿、古法殿の印





海地方の建築の柱は常に直上せずとて傾か  
す由方々に傾斜せしむる事又、これに  
入るるもの身らん、柱礎と絶対の用をさす事  
奇美但て又その利はゆる明証に  
あり。



新珠廟

五箇年之理之...



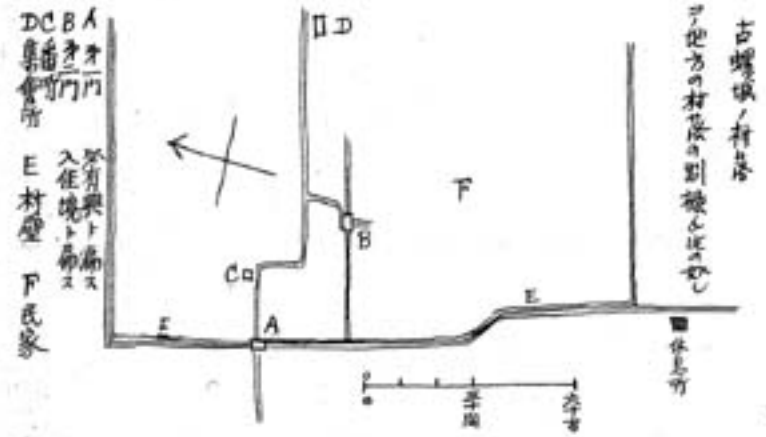
五箇年之理之...



丹鏡高懸之心之所  
五項長根信即心  
噴噴片石留遺修  
又真依照古樹陰

唐宮無視植計然  
何如蜀唐香樓今  
蓋臨王井殿初張  
淚血珠紅血未沈

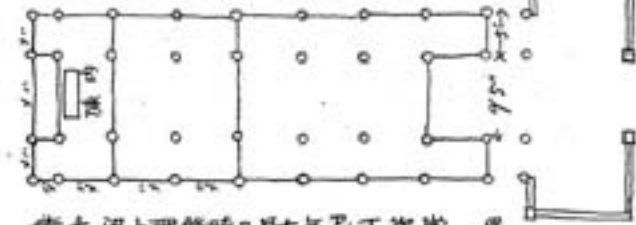




洋在海上

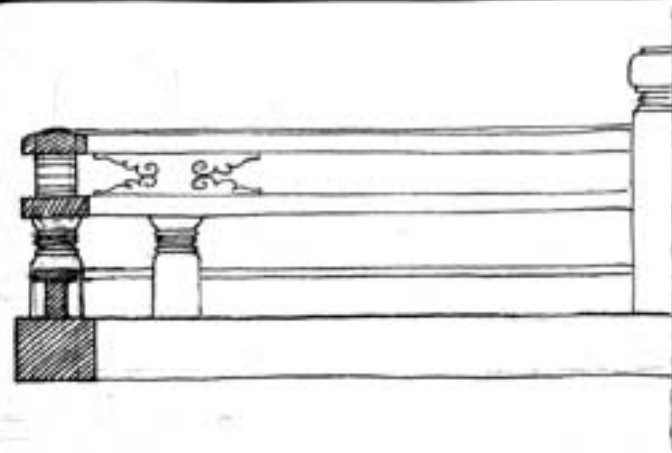
荷林切号  
瓦葺

村長會所



宣大源上理修明日月十年巳丁次歲 果  
 耶結大梁柱立理修展即一十冬仲中次歲年五十二條嗣 條

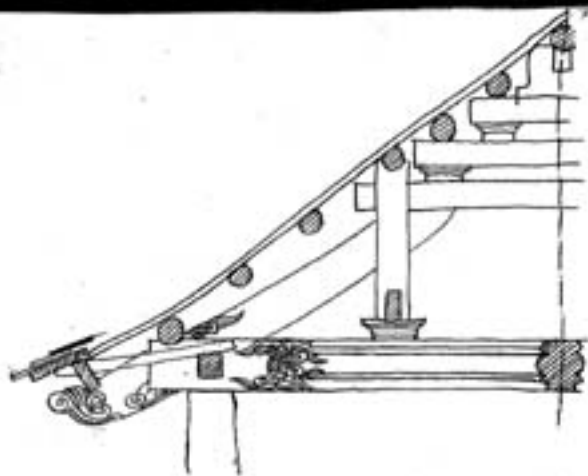


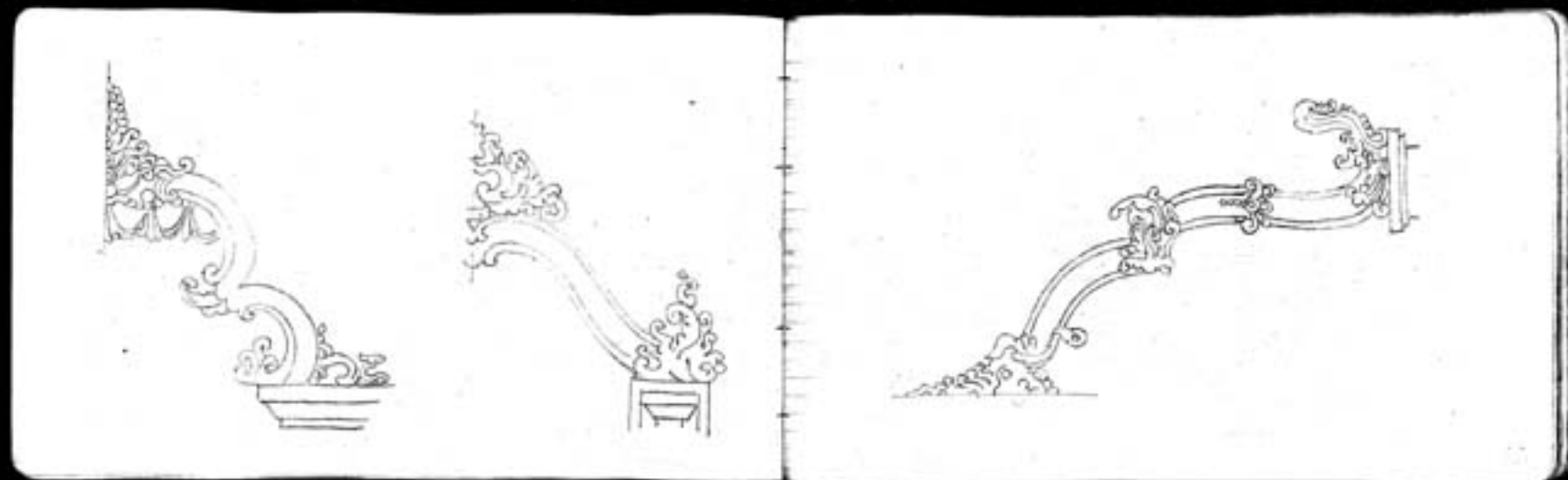


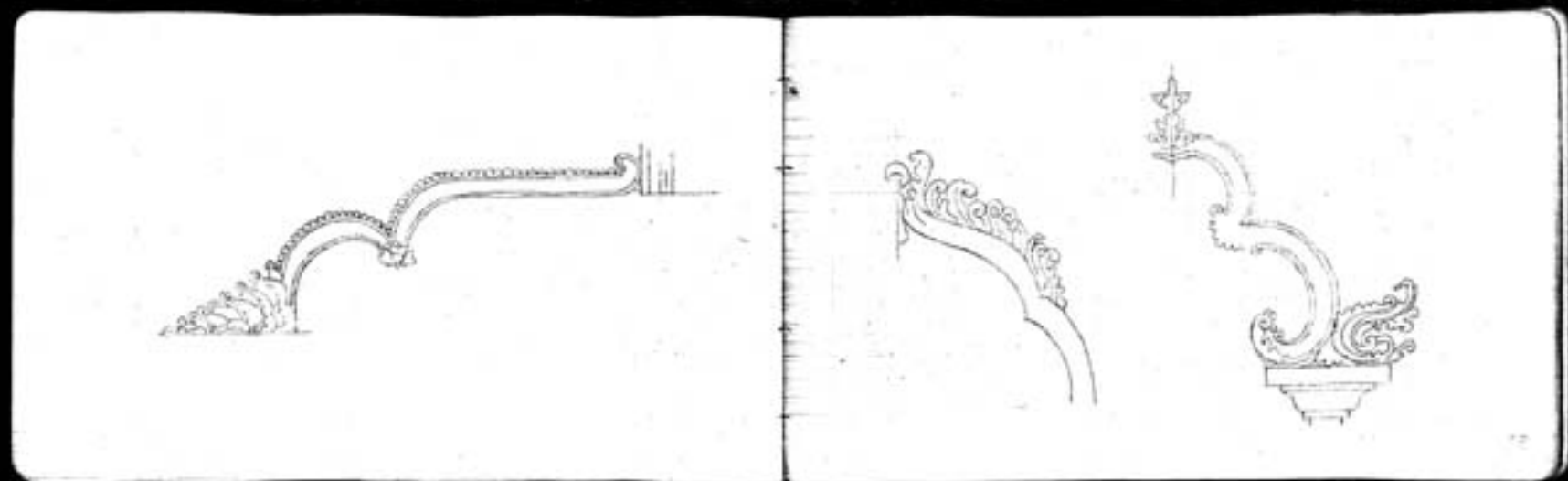
古樺城跡内、村會堂

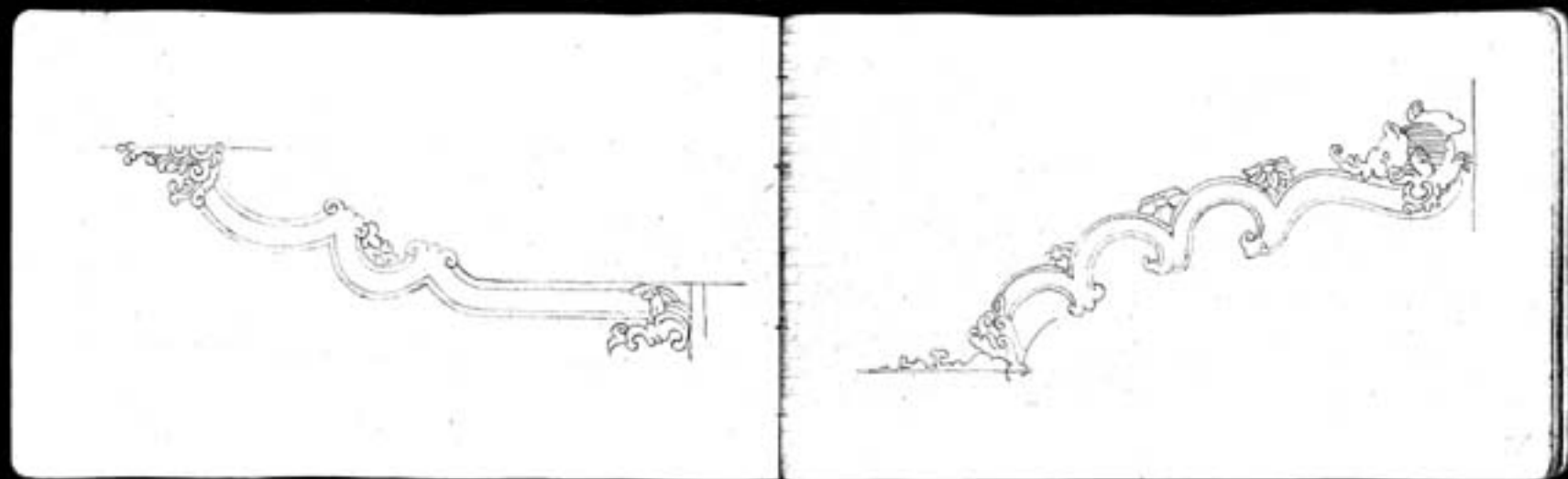


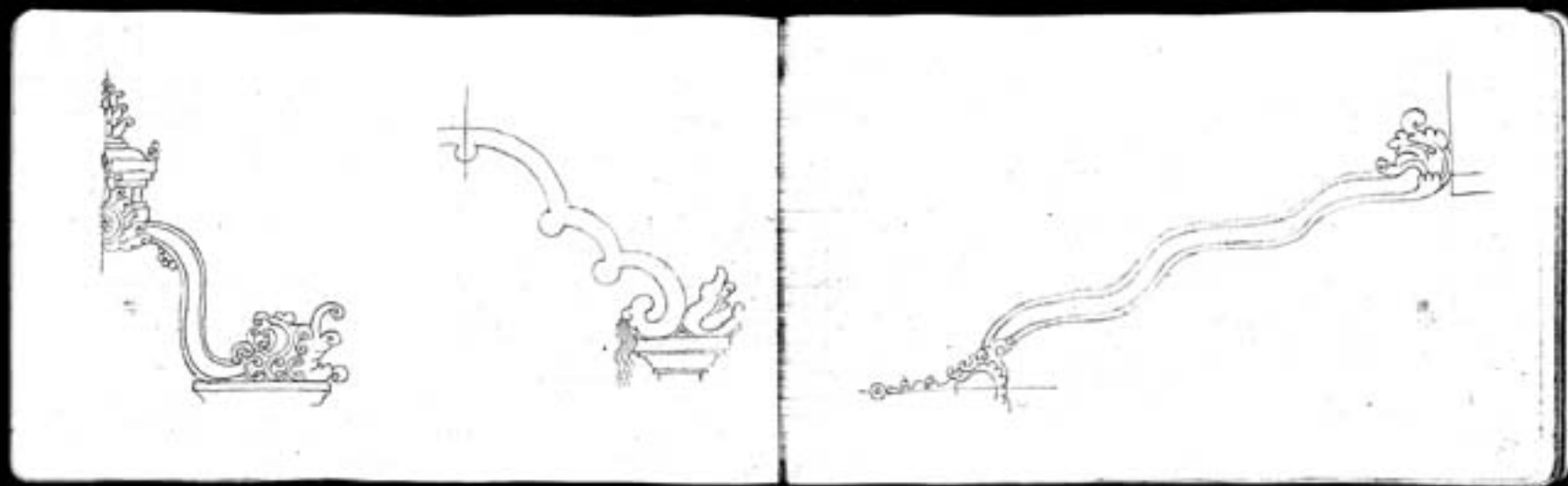
古螺城内 村會堂(休總所)

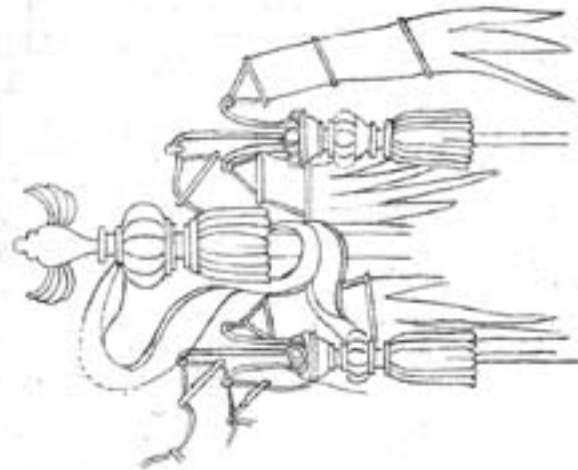
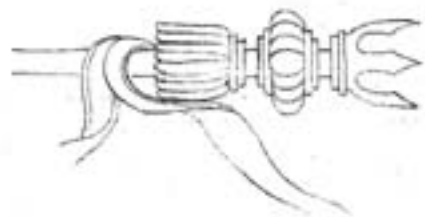
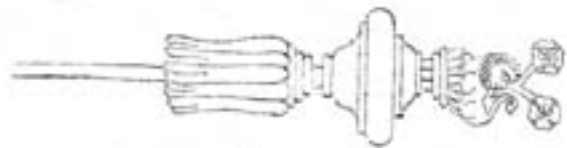


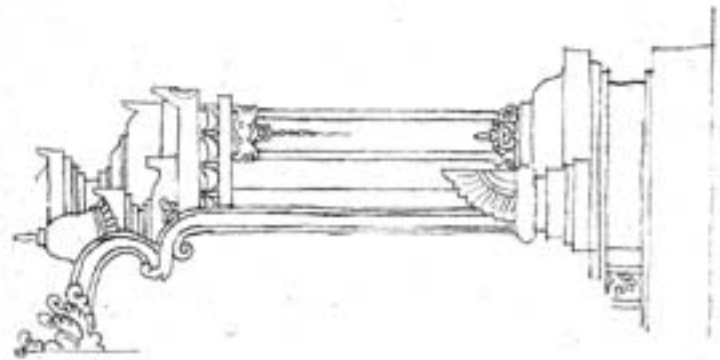
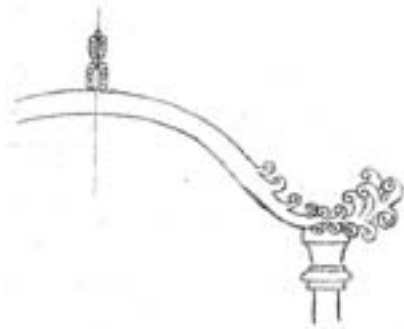




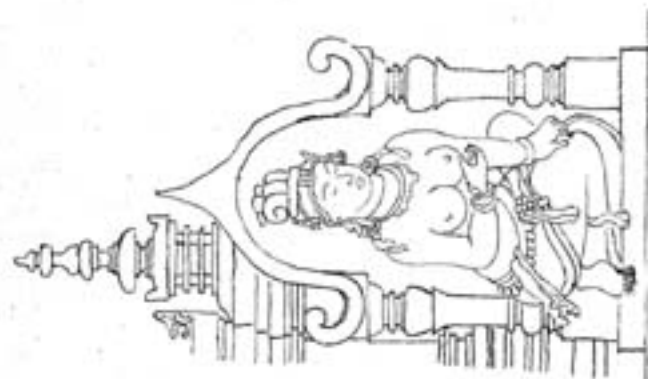
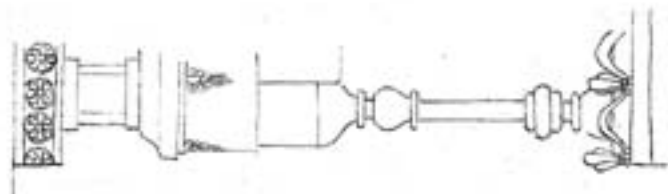


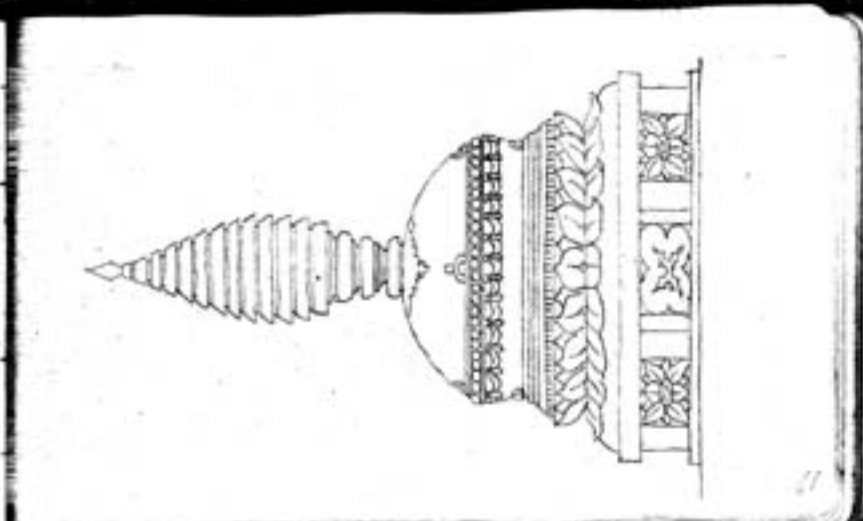
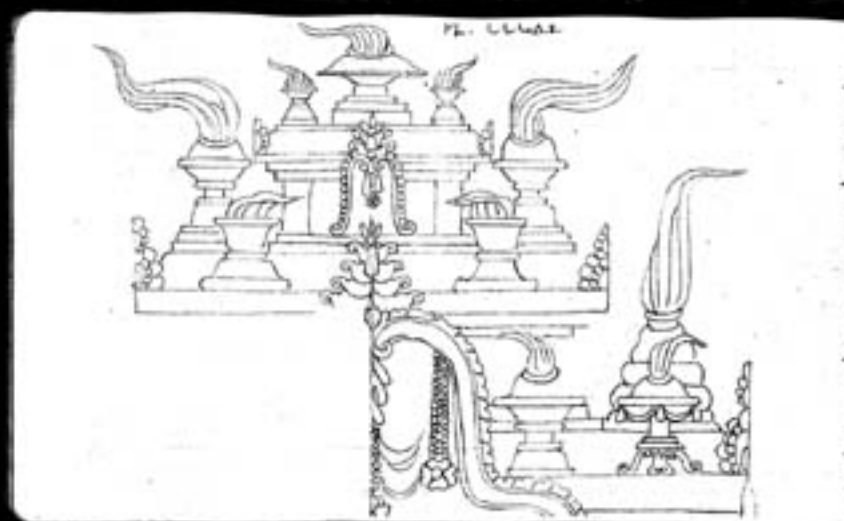


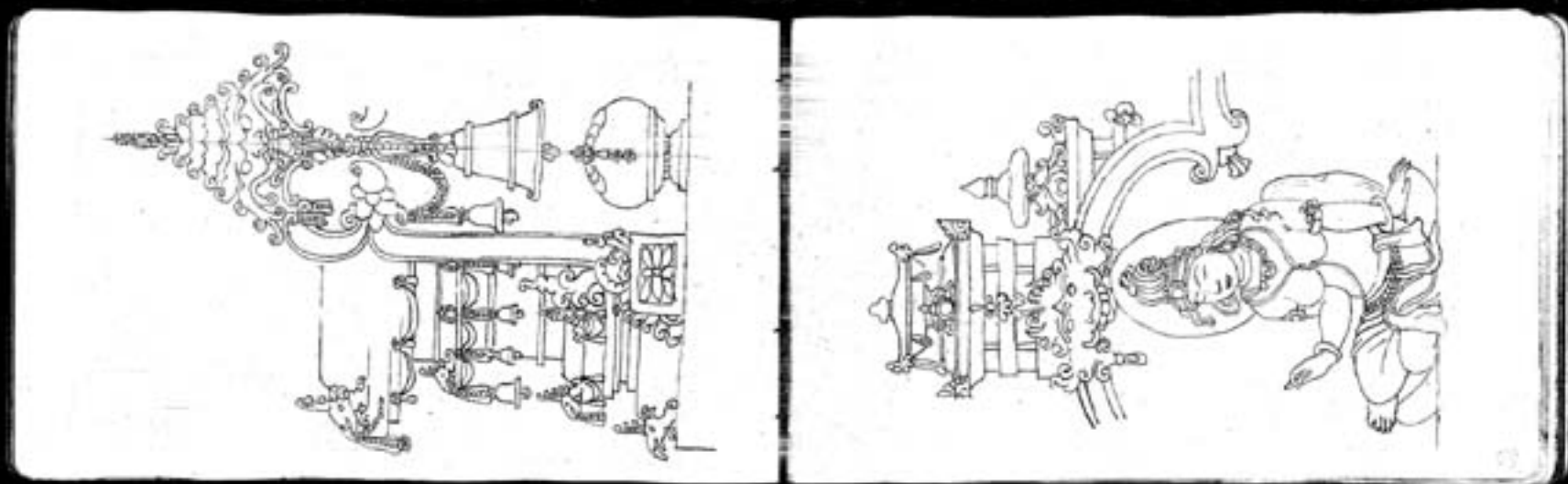


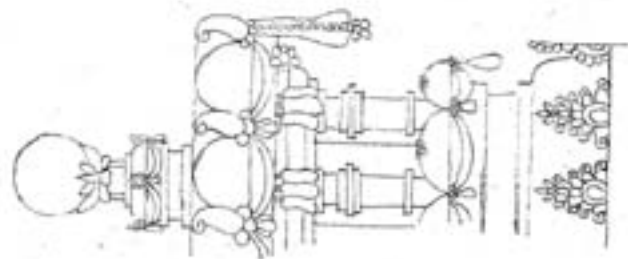


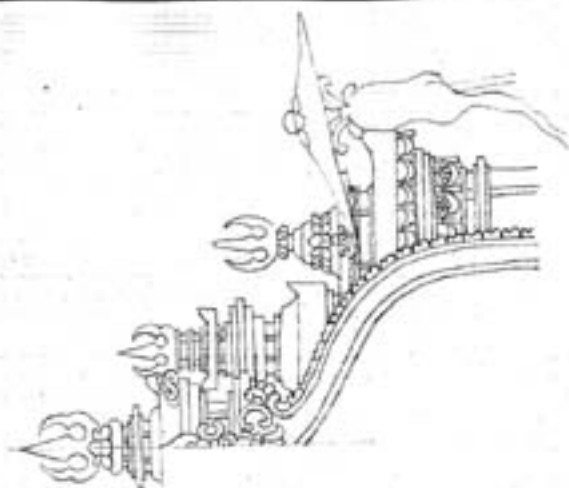
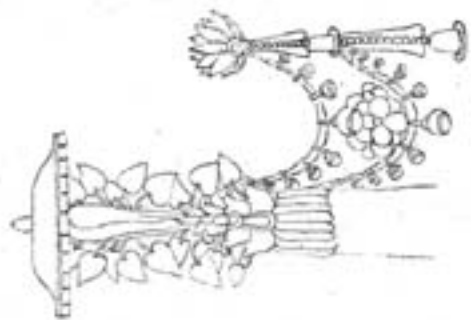


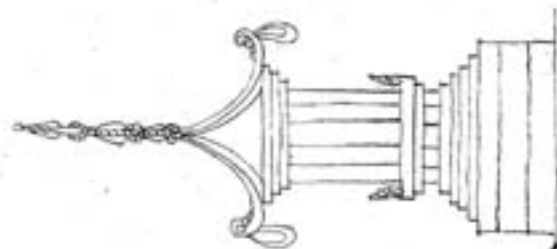
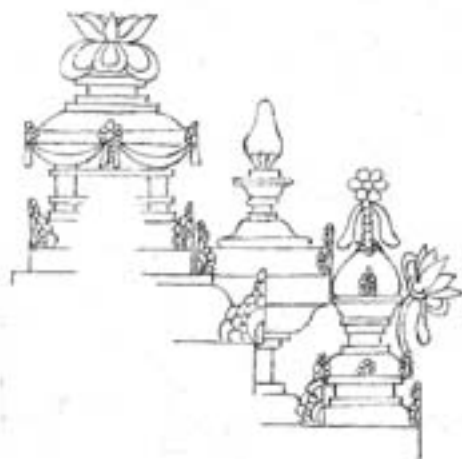


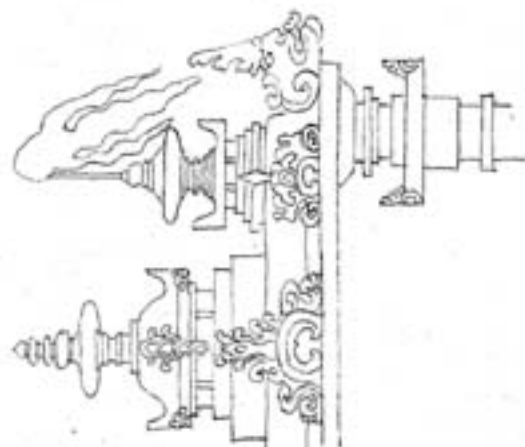






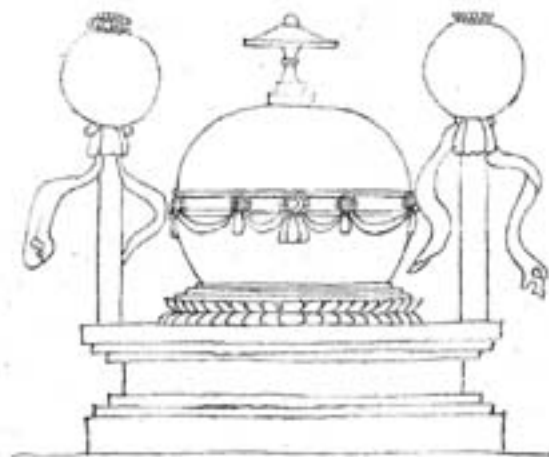


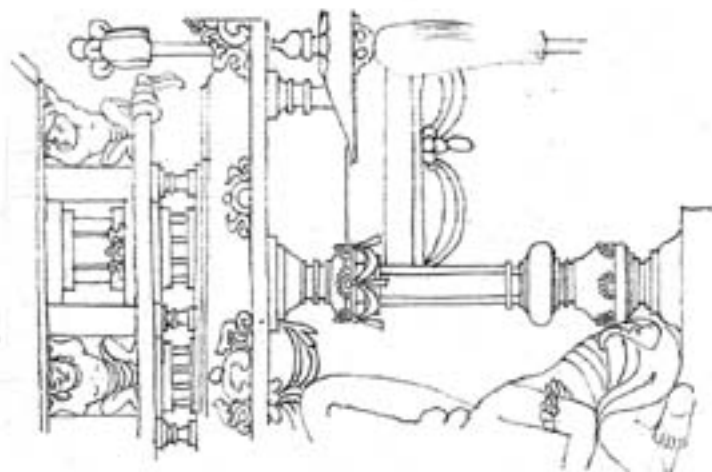
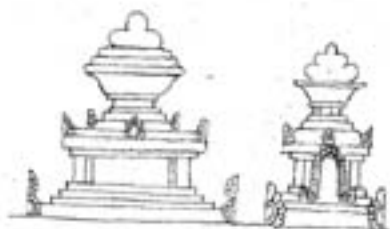
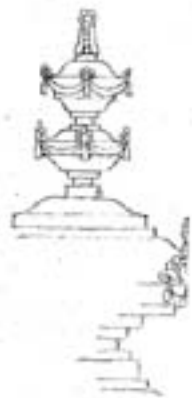


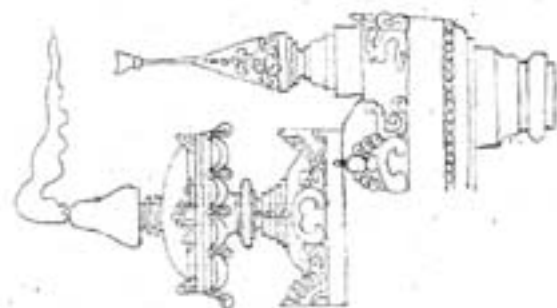


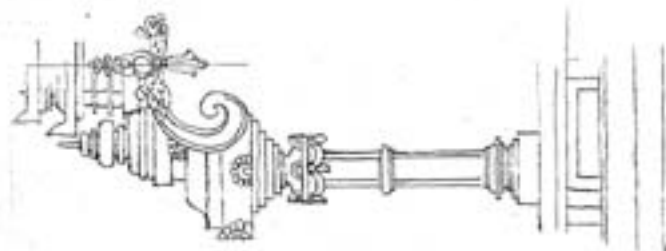


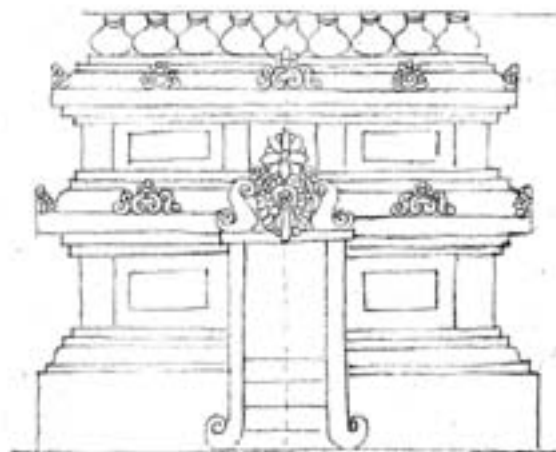


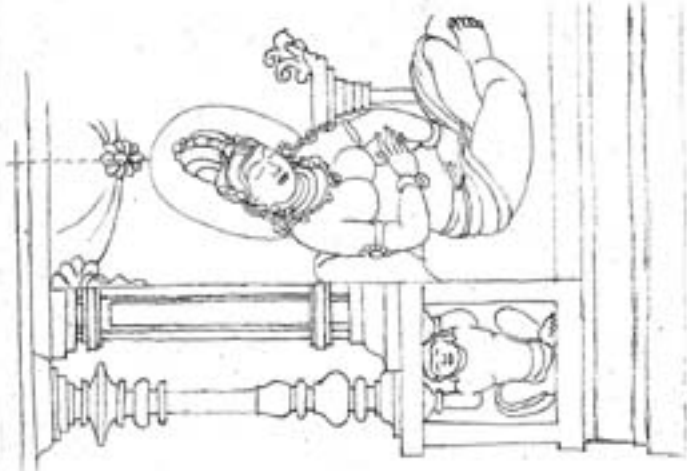












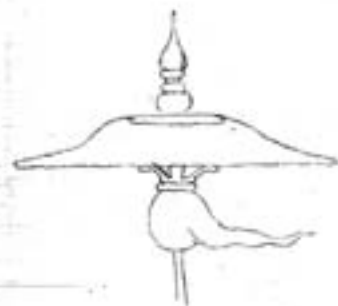




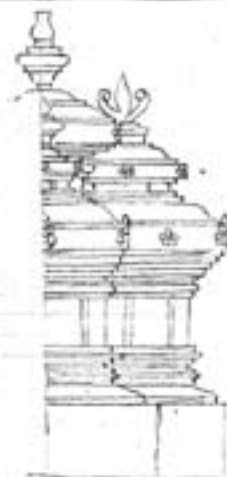








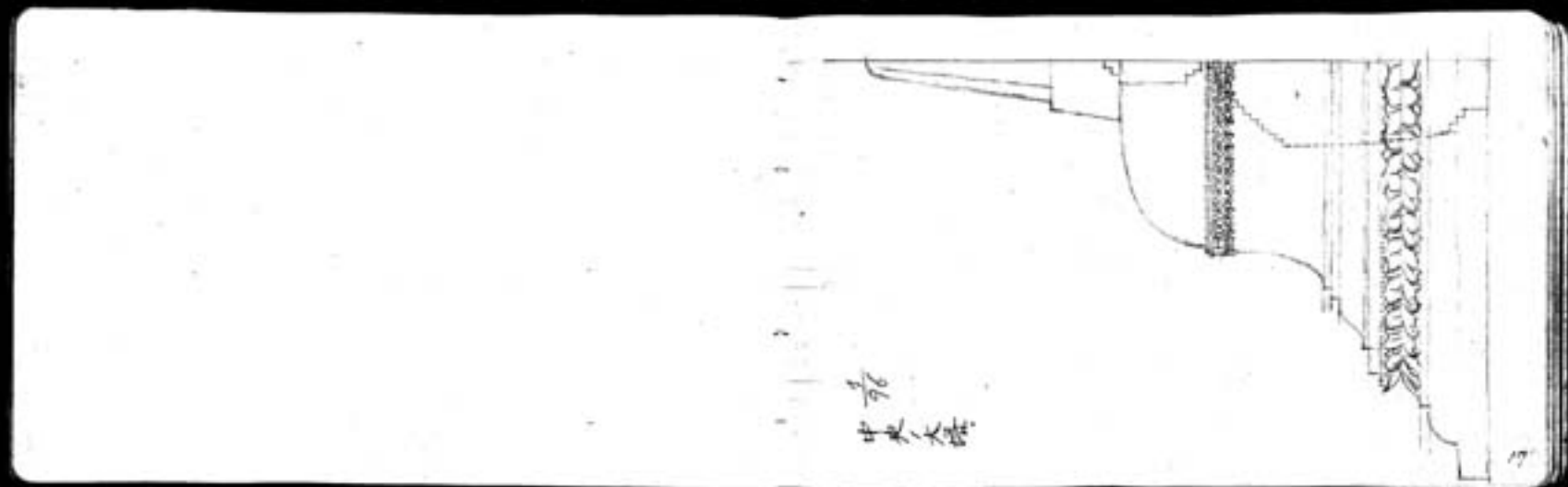






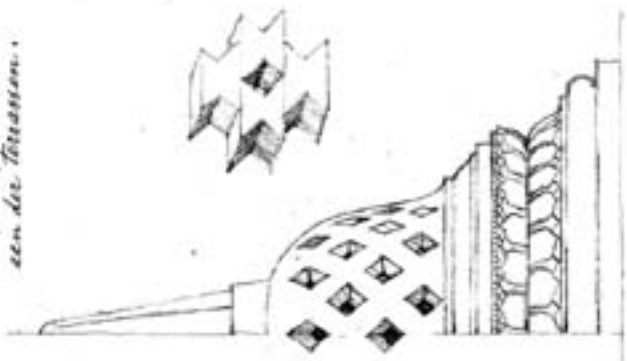
佛陀







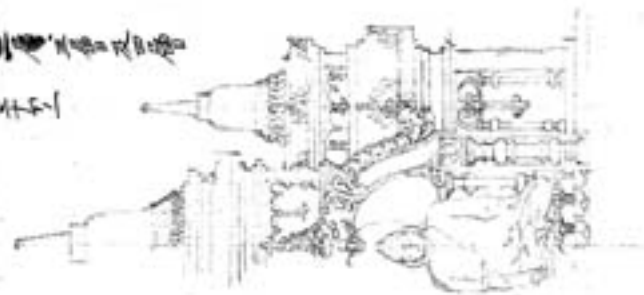
Kapitel of August von  
den der Tarnation.



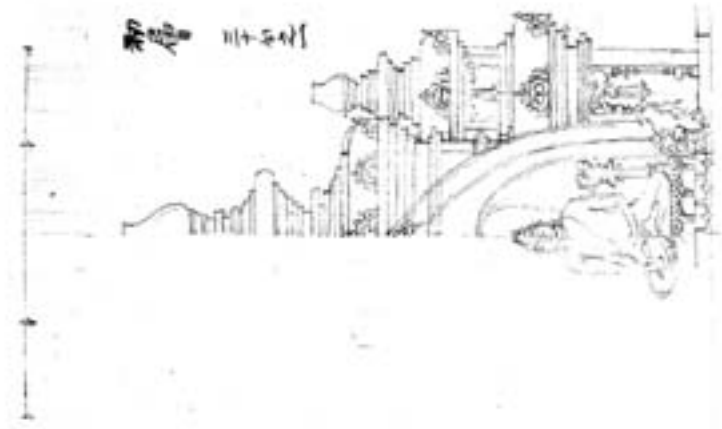


三層五層五層

五五



此圖係由日本建築學會  
所編之日本建築圖說  
第一卷中之第一圖也  
其名為  
佛之坐像





青石

庚申年... 西河... 青石... 建築... 建築... 建築...

建築... 建築... 建築...

東... 建築... 建築... 建築...

建築... 建築... 建築...

建築... 建築... 建築...

建築... 建築... 建築...

建築... 建築... 建築...

建築... 建築... 建築...

建築... 建築... 建築...

建築... 建築... 建築...

建築... 建築... 建築...

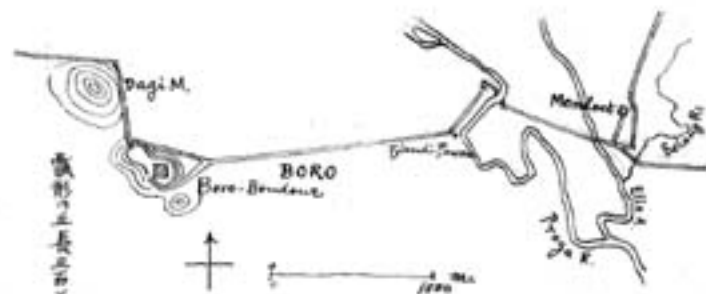
建築... 建築... 建築...

建築... 建築... 建築...

建築... 建築... 建築...

1/150





高野の正長正石トモ

明治三十五年四月二十日

河野武蔵博士の日記



Boro-Boudour.

Dr. C. Leemans  
 Boro-Boudour dans  
 L'île de Java.

Vol. I. Pl. CC  
 Vol II. Pl. CCX - CCCXIII.



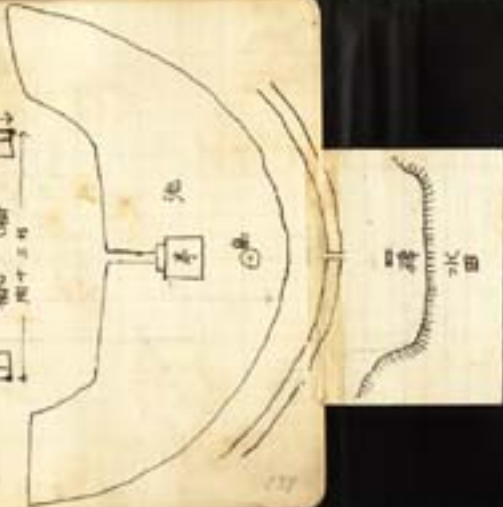
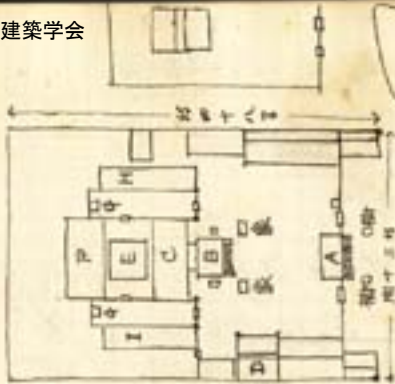






佛領東京(下)  
第二十一卷

路直





古法殿